

青果物



奈良県 奈良いちごラボ

『国産こだわりいちごで世界を席卷』

【主な品目】

いちご

【主な輸出先国・地域】

香港、台湾、タイ、欧米等

【輸出取組の概要】

- ◆ 県内いちご生産者5名で組織する「奈良いちごラボ」から市場・仲卸を介して輸出
- ◆ アジア圏から始め、米国にも輸出を展開。今後はヨーロッパにも拡大予定
- ◆ 幅広く輸出ビジネスを展開するためグローバルGAPの取得を目指す

【輸出実績】(平成28年度より輸出開始)

	輸出額(万円)	出荷時期
平成30年度	8,000	11月下旬
平成29年度	4,500	～
平成28年度	2,000	5月中旬

【効果があった取組】

研究から営業までそれぞれ役割を持った個々の取り組み・成果を全体で享受することで実需者への売り込み等に成功した。またデザイン性の高い包装容器や詰め方にこだわり、その高級感ある姿形が海外での人気となっている。

【取り組む際に生じた課題】

- ・ 個別に輸出を行うと、手続き、クレーム処理等時間と手間がかかる。
- ・ 海外での道路事情や軟皮類であるため輸送の際にキズが生じる可能性が高い。
- ・ 米国への輸出は、商社が指定されているため、相手方のペースに合わせなければならない。



3色いちごは海外でも人気が高い

【生じた課題への対応】

- ・ アジア圏は市場・仲卸業者を通じ輸出し、スケールメリットを活かした取り組みを行うことで各種諸対応の手間を省く。
- ・ 衝撃を吸収する包装容器を使用してキズの軽減を図る。
- ・ ジェトロの紹介で、ラスベガスでリゾートホテルを展開しているMGMグループに直接交渉を行いアメリカ輸出の足がかりを築いた。



【対応の結果】

- ・ 諸対応の手間を省くだけでなく、輸出に関する情報も入手することができた。
- ・ 衝撃を吸収する容器の使用で大幅にキズの軽減ができた。
- ・ 青果だけでなくジャムもホテルで使用してくれるようになった。



【今後の課題・展望】

- ・ 今後は欧米・中東向け出荷を拡大・検討していく。
- ・ クオリティの高い生産を維持していく。
- ・ グローバルGAPの取得に向けた体制整備を目指す。



ラスベガス・香港に輸出

【ウェブサイト】 <http://nara-ichigo-lab.com/>

【連絡先】 担当者名: 代表 杉崎 保巳 (すぎざき やすみ)